**１－３　狼男**

概要　町に流れる狼男のうわさは、新聞記者のでっち上げだった。彼はわざわざ犬を買い求め、頭の上に載せて満月の夜に歩き廻ったのだ。

依頼文　満月の夜に狼男が出るという噂が立っている。疑わしいが、新聞で取り上げられており、子供たちは怖がっている。真相を確かめてほしい。

「狼男」について聞く

記者　　（情報なし、ただし明らかに怪しい）すごいでしょ、私が狼男の記事書いたんですよ。おかげで新聞もバカ売れで。正体？ハハハイヤダナオオカミオトコハホントニイルンデスヨー

貴族　（情報なし）ロマンチックな噂だが、私はよく知らないね。他のものに聞いてみるといい。

学者　（情報なし）ばかばかしい。何か見ていそうな人間に話を聞くんだな。

マスター　（情報なし）俺は夜、店にいるもんでね、噂しか知らないんだ。すまん。

靴磨き　（証拠カード「目撃情報」を渡す）狼男？ああ、そういえばこの前の満月の夜、銀色の毛の子犬を頭の上に乗せてる怪しいやつがいたな。遠くから見たら狼男に見えたかもしれないが、俺の目はごまかせねえよ。

商人　（証拠カード「銀色の子犬」を渡す）ああ、あの記者さんの記事ですよね。新聞がよく売れたようで、この前買っていただいた珍種の銀色の子犬の代金を払いに来られました。しかし変ですね、彼は犬嫌いだったはずなのですが…

記者に「目撃情報」を見せる　へ、へーっそうですか、変な人もいたものですね。私じゃないですよ！証拠がないじゃないですか。

記者に「銀色の子犬」を見せる　え、ええ、最近犬派になりまして。実際稼げましたしね。いいえ、こっちの話ですよ…

記者に両方の証拠カードを見せる。　（クリア証を渡す）うっ…わかりましたよ。ほんとのことを言います。記事がそれっぽくなるように変装して歩いたんです。　ここまで

１－４　通り魔

概要　ある晩、貴族が何者かに殴られた。その時は怖くなり逃げだしたが、数日たつとなぐられた怒りがわいてきた。警察に相談するも殴られたという証拠がないので相手にされない。

依頼文　ある晩、貴族が何者かに殴られた。犯人を突き止めてほしい。

貴族　依頼の通りだ。よろしく頼むぞ。

貴族と靴磨き以外　「殴られた事件は知らないと答える」

靴磨き　（証言カード１「ガールフレンド」を渡す）　「事件は知らんが、貴族に新しくガールフレンドができた、トラブルが起きるなら彼女がらみだろう。彼女はマスターと知り合いのはずだ。」

以下、証言カード１あり

マスター　（証言カード２「商人の娘」）「彼女は商人の娘さんだ。彼に話を聞いてみろ。」

以下、証言カード２あり

商人　「私の娘は貴族からストーカー被害にあっており、悪いとわかっていましたが、娘を守るために彼を殴りました」

以下、証言カード３あり

貴族　（クリア証「以来の取り下げ」）「この依頼は解決したということにしておくからストーカーのことは黙っていてくれ」と頼まれる。　以上

３－２　紫の薔薇

概要　有名な舞台女優には、送り主不明の紫の薔薇がデビュー当時から届き続けている。

実は同じ孤児院出身の靴磨きが、孤児院の管理人から受け継いだ技で薔薇を作っていた。

依頼文　（大女優）デビュー当時から、いつも私の公演に、紫のバラを贈ってくれる人がいるのです。直接会ってお礼を申し上げたいので、是非その方を探してください。

女優について

靴磨き　しがない労働者には関係のない話ですねえ。

記者（証言カード「女優の出身」を渡す）ココだけの話、実は孤児院出身という噂があるね…

他　有名だから知ってるが、彼女が何か？

薔薇について

貴族　紫の薔薇？知らないな…どこで売ってるんだい？

マスター　（証拠カード「貴族の庭園」を渡す）花のことなら貴族様が知っているはず。聞いてみたら？

商人　（証拠カード「庭仕事の道具」を渡す）紫の薔薇？うちでは取り扱ってないですね。品種改良するしかないはずです。あそこの靴磨きはいつも、庭仕事の道具を買って行ってるし、聞いてみたらどうですか？

靴磨き　さあ、知らないですねぇ…

他　さあ…？

庭園について

貴族　（証拠カード「靴磨きの過去」を渡す）庭園は管理人が亡くなった時に潰してしまったよ。彼が一緒に管理していた孤児院もね。確かあそこの靴磨きは孤児院出身で、庭園の手伝いもしていたんだ。聞いてみるといい。

他　知らないなあ…

庭仕事の道具について

靴磨き　ただの趣味ですよ、たいしたことないです。

全ての証言を持っている場合（それ以外はとぼける）

靴磨き　（クリア証「紫のバラと手紙」を渡す）…分かりました。すべてお話ししましょう。彼女と私は同じ孤児院出身ですが、今となっては大女優としがない靴磨きだ。スキャンダルになるといけないんで、匿名で薔薇を送ってましたが…、探偵さん、すまないがこれを彼女に届けてやってください。